

2024 年度

授業概要

科目名		理学療法評価学実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
評価学で身に付けた評価技術を用い、実際に各疾患を評価していく。									
〔授業全体の内容の概要〕									
疾患に応じた評価項目の列挙を行う。理学療法評価学Ⅰ・Ⅱで身に付いた正常者への評価方法から疾患別に評価方法を選択し、疾患別の障害像にあった主要評価方法を練習する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
①各疾患の特性に応じた評価項目が選択できる ②選択した項目を客観的な評価ができる									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	オリエンテーション								
3	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
4	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
5	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
6	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
7	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
8	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
9	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
10	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
11	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
12	脳卒中片麻痺①の評価項目列挙と実践								
13	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
14	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
15	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
16	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
17	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
18	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
19	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
20	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
21	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
22	脳卒中片麻痺②の評価項目列挙と実践								
23	復習								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
理学療法評価学					松澤 正・他		金原出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記テストを行い評価する。									